

トピックス

蘇我副都心の魅力向上へ 蘇我スポーツ公園グラウンドを天然芝に

蘇我スポーツ公園の多目的広場「フクダ電子グラウンド」を巡っては、強風で舞った砂ぼこりが隣接するサッカー場に流れるなど、利用者や周辺住民から苦情が相次いでおりました。

私自身、市議会において、副都心蘇我的新たな魅力ともなることから、特に、昨年来同公園で開催されている「JAPAN JAM」の継続開催、イベントの定着化を進めるべく、公園施設の積極的な整備の推進を求めて参りました。

そうしたなか、費用の半額をイベント運営のロッキング・オン・ジャパンからの寄付でまかなう形で予算が確保され、本年3月より天然芝が敷設されました。

当日は、参加者及びアーティストの皆さんからも「全ステージ芝生化」の喜びの声が聞かれました。なお、少年野球やソフトボールなどによる利用については、8月1日より供用開始となります。



昨年のイベント時の砂ぼこり



天然芝が張られた今年の会場



JAPAN JAM 2018 の模様

蘇我エリアの周辺住民から寄せられていた公園に関する要望で「そが野ふれあい公園に時計の設置」、「南部蘇我1号公園に新しい遊具(ブランコ)の設置」が完了し、好評です。私たちの暮らしに身近な公園や道路・下水道など、今後とも地域でお気づきの課題や改善要望などがございましたら、お気軽にご相談ください。

声をかたきに！



時計設置



ブランコ設置

市政に関するご意見、ご要望など、みなさまの声をお聞かせください。

千葉市議会議員

酒井 伸二

〒260-0822 千葉市中央区蘇我3-5-14

Tel/Fax.043-268-7120

ホームページは「酒井伸二」で検索ください！ <http://www.facebook.com/sakai.cc> e-mail:sakai_chiba@ko-mail.jp



東京2020オリンピック・パラリンピックまであと2年！

いよいよカウントダウン！

皆さまご存知の通り、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が千葉県でも開催されます。日本での夏季オリンピックの開催は、1964年の東京オリンピック以来、実に56年ぶりとなります。大会開催を2年後に控え、千葉市では2年前（カウントダウン）イベントなどが開催されます。皆さまも、参加してみたいはいかがでしょうか。

※イベントの詳細は市政だより7月号をご参照ください。

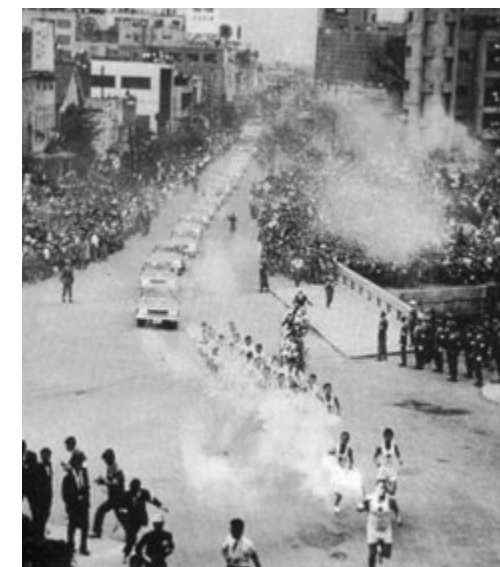
オリンピック

開催期間=2020年7月24日(金)~8月9日(日) 競技数=33競技
県内競技=フェンシング、テコンドー、レスリング、サーフィン

パラリンピック

開催期間=2020年8月25日(火)~9月6日(日) 競技数=22競技
県内競技=ゴールボール、シッティングバレーボール、テコンドー、車いすフェンシング

※会場は、幕張メッセ(サーフィンは一宮町釣ヶ崎海岸)です。



1964年大会 聖火リレー (県庁前)

大会ボランティアの募集について

千葉県及び千葉市では、大会組織委員会が募集する「大会ボランティア」(競技会場、選手村等における大会運営の為にボランティア)とは別に、大会時に会場周辺などで交通・観光案内などを行う「都市ボランティア」を本年9月から募集を開始致します。

県が作成した取組検討調査報告書を基に試算すると、海浜幕張駅をはじめ、主要駅(千葉駅や蘇我駅周辺)において一日あたり約2,000名が必要とも言われております。

また、「その他ボランティア」(美化活動やパラスポーツ応援団など)についても、今後検討が行われる予定です。ちなみに、先行募集となった「都市ボランティアリーダー」については、定員100名のところ約450名の方からの応募がありました。

市長への政策提言から5年

東京招致が決定した1週間後、オリンピック・パラリンピックを千葉市のまちづくりに最大限に活用すべく30項目の政策提言案をまとめ、更にその3週間後に公明党市議団として市長に提出致しました。当時は本市が競技開催都市となることは全く想定外でありましたが、庁内組織の立ち上げをはじめバリアフリーの推進や新たな魅力形成など、様々な施策が実施されて参りました。

千葉ポートアリーナが車椅子バスケットボールのナショナルトレーニングセンターに指定されたことや、オリンピック・パラリンピック教育の全小中学校での実施、大会後のレガシー(遺産)の検討などは、その一連の政策提案の賜物であります。

同大会を、千葉市として最大限生かしていけるよう、引き続き全力で取り組んでまいります！



2013年10月 市長に「30の提言」を提出

政策が実現！

■高齢者保護情報共有サービスを開始！

近年、認知症による徘徊症状が見られる高齢者の行方不明(身元不明)事案が増加しており、認知症高齢者の見守りに関する支援が急務となっております。そこで千葉市では、認知症高齢者の安全確保とその家族への支援のために、認知症による徘徊症状が見られる高齢者の安否情報等を関係者間で共有する事業を開始することとなりました。徘徊高齢者の安全確保、家族や介護者の負担軽減とともに、認知症サポーター等を含めた市民の協力を促進し、地域における認知症高齢者の見守り体制強化等を図るものです。

7月2日(月)～ 申請受付開始！

QRコードが印刷されたラベルシール(1人あたり40枚)とICTサービス(どこシル伝言板)を用いた事業です。(どこシル伝言板のイメージは右記の通りです。)



徘徊高齢者対策に関する議会質問が実を結ぶ！

昨年一年間に全国の警察に届け出のあった認知症の行方不明者は、前年比431人増の15,863人。(5年連続増)届出の受理当日に約7割、7日以内に約99%の所在が確認されたものの、2年以上経過したケースもあったとされております。

一方で千葉市における徘徊高齢者の近年の推移は、(SOSネットワーク事業の利用件数のうち)市内の警察署からの情報提供によるものが平成27年度は39件、28年度は59件、29年度は65件となっております。また、市外からの所在不明者に関する照会は、平成27年度が143件、28年度は176件、29年度は124件。なお、いまだ発見に至らない所在不明の事案は、本年3月末現在で3件となっております。

さてそうした実情を踏まえ、平成27年の第四回定例会、平成29年の第四回定例会など数度に渡って「徘徊高齢者問題」を取り上げ、議会質問を行って参りました。訴えてきたポイントは、“社会インフラとも言えるコンビニとの連携なども視野に入れた、認知症サポーターの拡充をはじめとする人的ネットワークの拡大”でありました。今後とも、地域で包摂していける環境づくりを目指します。

平成29年 第4回定例会(12月)における当局の答弁(抜粋)

SOSネットワークなどの拡充の状況については、市内の警察署を初め各区保健福祉センターやあんしんケアセンターなどが参加して、情報共有を図るほか、防災行政無線での呼びかけや市ホームページ、ちばし安全・安心メールにて市民への情報発信を行っている。また、認知症サポーターは、本年5月末現在で5万人を超えており、講座修了者に対し、ちばし安全・安心メールへの登録を呼びかけている。

今後の徘徊高齢者対策として、SOSネットワーク事業と徘徊高齢者位置情報システムを連動できるよう、警察署を初めとする関係機関に加え、認知症サポーターなどの地域の方やコンビニエンスストアなどの民間事業者とも連携し、情報共有が図れるようなシステムへの見直しを検討していく。

■JR蘇我駅など主要駅周辺へ防犯カメラを設置

千葉市では、市街地・繁華街における犯罪抑止を目的に、JR主要駅周辺等に防犯カメラを設置することとなりました。本年10月に千葉駅周辺(13台)と稲毛駅周辺(7台)へ、明年10月に海浜幕張駅(7台)と蘇我駅(8台)へ設置され、オリパラ開催までに安定的に運用するとしております。

2014年6月に、私自身、議会で初めて駅周辺等への防犯カメラの設置を主張して4年。ようやくここまで参りましたが、その他駅への拡充など、引き続き取り組んで参ります。

なお、町内自治会に対する防犯カメラの設置補助は昨年より始まっております。(昨年は、11町会に30台のカメラが設置されました。)



防犯カメラ

■ゲリラ豪雨など雨水対策を強化へ

千葉市では今年度より、重点地区については1時間あたり53.4mmから65.1mmの大雨に対応できる水準に、施設整備方針が引き上げられます。中央区では蘇我駅周辺や千葉駅周辺が対象となります。全国的にも、1時間降水量50mm以上の年間発生件数が年々増加傾向にあり、排水施設の見直しが求められておりました。

私も本件を議会で取り上げたのが、議員2年目の10年前。当時訴えたのは、①昨今の気象変動を加味した施設整備基準の見直し、②アンダーパス構造道路における警報システムの設置。②は8年前に実現、①が今年度からの取り組みとなります。長期間を要する事業ですが、より快適な町となるよう推移を見守っていきたいと思います。



冠水情報表示板

■旧生浜町役場の修繕を実施へ

以前より地域から要望があがっておりました旧生浜町役場の施設修繕について、新年度予算で予算確保がなされ、外壁塗装、バルコニー床、内壁などの修繕工事が実施されることとなりました。工期は4か月程度(本年10月～来年1月を予定)です。なお敷地内は、作業員駐車場、資材置き場として使用するほか、塗装に伴う粉塵や塗料の臭いが生じ、建物内の公開が難しくなるため、作業期間中は休館となります。



生浜町役場

都市建設委員長に就任しました

6月7日(木)～21日(木)、平成30年度 千葉市議会 第二回定例会が開催されました。毎年6月の議会では、議会人事が様々刷新されます。特に常任委員会については、50名の議員が5つの委員会(総務、保健消防、環境経済、都市建設、教育未来)に再配置され、年間を通じて担当所管における予算・決算の審査や政策の調査研究を行います。

私自身、ここ2年間は教育未来委員会(子ども未来局と教育委員会を所管)に所属しておりましたが、今期は都市建設委員会(都市局と建設局を所管)に所属することとなり、図らずも委員長を拝命致しました。また前期に続き、議会運営全般を司る議会運営委員会にも、公明会派を代表して所属することになります。市民の皆さまの負託を受けての市議会。緊張感を持って、全力で臨んで参ります！



委員長席